

はじめに

「釧路の三大基幹産業」炭鉱・水産・製紙。鳥取地域に日本製紙（十條製紙）釧路工場、大楽毛地域に王子マテリア（本州製紙）釧路工場が立地し、それらは釧路市、特に（旧）市西部の「地域とその文化」が形づくられるなかで大きな存在であり、また誇りでもありました。

その歴史は、「富士製紙釧路工場」として1920（大正9）年のパルプ製造からスタート、翌年には紙の生産を開始します。会社合併により1933（昭和8）年に「王子製紙釧路工場」、そして戦後の占領政策で王子製紙は分割され「十條製紙釧路工場」となります。1950年代後半から大型抄紙機（マシン）が増設され、同社内では石巻工場につぐ生産量を誇る重要な工場でもありました。また工場周辺には社宅街が形成され、1965（昭和40）年開店の十條サービスセンターは、従業員・家族だけでなく多くの市民に親しまれました。十條製紙アイスホッケー部（日本製紙クレインズ）は、釧路だけでなく全道・全国にも知られた、氷都・釧路を代表するスポーツチームでもありました。

しかし、IT社会が進行していく中で、特に主要製品だった新聞用紙の需要が大きく減少し、2021（令和3）年8月16日に紙生産を終了し9月30日に閉場、翌日から発電事業などを中心とする「日本製紙釧路事業所」として再出発しました。

博物館では101年間のその歴史を振り返り、次世代へ継承するべく資料の収集を進めていくほか、2022（令和4）年度に「十條製紙・日本製紙釧路工場のお話を聞く会」を開催しました。そして「工場が育んできた地域とその文化」をテーマとして、話を聞く会の内容のほか、関係者からの寄稿・インタビューなどを収録した本書を発刊します。

博物館では釧路を形づくってきた産業、そこに生きた人びとの記録化に今後も取り組んでまいります。

2023（令和5）年3月 釧路市立博物館



釧路川（新釧路川）と十條製紙釧路工場
下谷 愛氏蔵

もくじ

はじめに…… 1

十條製紙・日本製紙釧路工場のあらまし 石川 孝織…… 2

十條製紙・日本製紙釧路工場のお話を聞く会《しごと編》 藤原 厚さん…… 4

●工場訪問記(1) 十條製紙釧路工場（「経済情報」1963年より）……12

十條製紙・日本製紙釧路工場のお話を聞く会《くらし編》 福井 華那さん・広羽 征二さん……13

十條製紙の思い出 五戸 昭維さん・井向 幸雄さん……19

思い出の聞き書き集 一本嶋仁志……24

日本製紙と鳥取小学校 一本嶋仁志……38

社宅街での思い出 村上 雅樹……41

日本製紙前かいわい 大倉 玄嗣……46

●コラム 日本製紙釧路工場前のオバQ公園 加藤ゆき恵……59

空中写真と地図でみる釧路工場とその周辺……60

年表……70

[表紙写真] 1980年代前半の十條製紙釧路工場と周辺空撮（当館所蔵：日本製紙釧路事業所寄贈）

[前ページ・裏表紙写真] 撮影：石川 隆さん